

5

小規模校や少人数学級における掲示

1 はじめに

小規模校や少人数学級における掲示は、スペースが十分にある反面、「広すぎて困る」ということもあるのではないだろうか。

本校は児童数11名の極小規模校である。掲示場所も玄関、階段の踊り場、各教室と広いスペースがある。楽しい掲示になるように、また、あまり時間を掛けないですむようにという考えで掲示を行っている。

2 図画工作作品の掲示

本校では図画工作科は全校で行い、専科扱いにして一人の教員が指導している。児童の作品は各クラスに掲示するところも多いだろう。本校では、指導から評価まで一人の教員が行うことから、全校の掲示も一か所にまとめることにした。場所は、みんながよく通る階段の踊り場としている。

全児童の立体作品等を写真にして掲示。写真の下に感想や友達の作品のいいところを記入している。その都度作品ができたら上に貼り重ねるようにしている。



各クラスの作品を順番に掲示。このコーナーは、貼り替えを行っている。

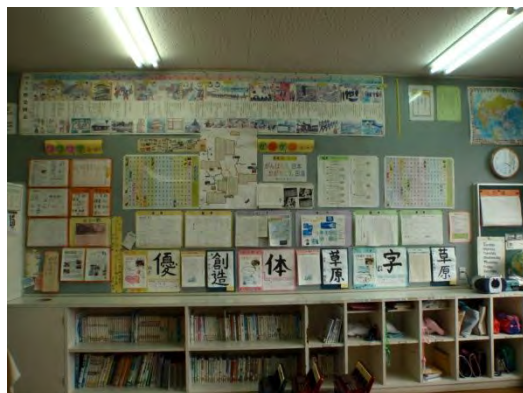
全校の児童のクロッキーを掲示している。クロッキーは全校で図工を行う時間に、10分程度時間をとり、同じ題材でかくようにしている。(ちなみにこれは校長先生のクロッキー) ここも、作品は上に貼り重ねるようにしている。

3 教室掲示

教室後ろは全面掲示可能である。この広いスペースを有効に活用するために、また、日々の生活や授業に生かすことができるものとするために、年度初めに各コーナーを決め、それを上に貼り重ねるような掲示を考えた。

基本的に、年間を通してあまり貼り替えずにすむようにと考えている。

右の写真は、高学年(5、6年)教室の掲示である。



<ワクワクコーナー>

学校生活に関することを掲示している。

- ・ほけんだより ・給食だより ・献立表
- ・学校だより ・学級だより ・今月の歌
- ・クラスでの当番 ・日直の仕事 等



<ガンガンコーナー>

勉強や児童に関することを掲示している。

5年と6年の掲示物を左右対称の位置に掲示し、共通するものは中央に配置した。

新出漢字のポスターを、左右対称の位置に掲示（市販のもの）。年間を通して習う漢字を見ることができる。

歴史年表。
社会科はA B年度方式をとっているが、常時掲示している。

各教科の単元ごとの要点をまとめたもの等を貼り重ねている。
既習の学習内容を思い出したいときには、大変効果的である。
色も学年ごとに統一
*左から6年算数、国語、社会、理科、5年国語、算数

中央は、総合的な学習に関するものや、関心をもってほしいものを掲示。



児童のコーナー。高学年児童は3名なので、バランスよく配置。
自分のカラーを決め、学期ごとのめあてや感想用紙、習字の作品などを貼り重ねている。

*これが一人分。

学期ごとのめあて
月ごとに欄を設け、シールで反省ができるようにしている。

今年の一字
自分がこの1年、がんばり通したいことを一字の漢字にして年度初めに書いた。ちなみにこの子は、体を大切にしたいという思いを込めている。

行事や集会の感想
ファイルを内開きにして掲示。最後には1冊の感想ファイルになる。
習字の作品

これだけはしておきたいこと
各児童の自主勉強、体力づくりにおける学期ごとのめあてや、必読書等の情報をプリントして年度初めに貼っておく。めあてを達成したらシールを貼らせ、意欲付けを図っている。



4 玄関掲示

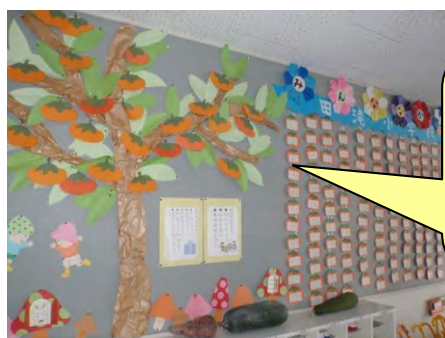
年間を通して木の掲示を常設し、季節に合わせて、様々に模様替えするようにしている。



<春>
入学式に
合わせ、桜の
木に。



<夏>
葉っぱがたく
さんついた木
に。



<秋>
地域の特産
物、柿をな
らせた。



<冬>
綿で雪が積
もったよう
にする。

学校の顔である玄関なので、楽しく季節感あふれる掲示に心掛けている。また、季節ごと、行事ごとの掲示はひとまとめにしてストックし、時期になると掲示が容易にできるようにしている。それにより、手間と時間を多少省くことができる。

5 おわりに

その他にも、保健コーナー、図書コーナー等があり、それぞれ担当教員がその時々に合わせて掲示を変えている。また、最近では「ホームページブログのコーナー」も作った。本校はホームページの日記のコーナーをこまめに更新しているが、全ての児童が家庭で見られる環境にはなっていない。そこで、ホームページに記載したものを印刷・掲示し、児童がいつでも見られるようにした。

児童にとって自分の作品や自分に関することが掲示されることはうれしいことである。それを容易に更新できる工夫をすることで、児童の意欲付けや称揚につながるよう、今後も様々な取組をしていきたい。